

1889
2009
7/1

府報の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／平井 賢治 編集人／西村 浩美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

核兵器を廃絶しよう
原水爆禁止世界大会
in 長崎
日程 8月7～9日
カンパ等ご協力を

オープニング・イベントで「大阪名物」を大合唱



自治労連20th 6月12日～14日

おきなわプロジェクト



6月12日から14日、集中豪雨にも負けず自治労連20thおきなわプロジェクトが開催されました。北海道から沖縄まで全国から1250人が参加し、大阪から132人、府職労から8人が参加しました。

このプロジェクトは、自治労連20周年記念行事として、全国の自治体に働く1000人を超える青年が沖縄に集まり、学んで感じて交流しようというねらいで開催されました。「自分たちらしく、楽しみながら」

をモットーに、全国の仲間と一体感を感じ、青年の明日への原動力となるようとりくんでまいりました。

12日(金)那覇空港着、大阪で独自に企画したコースに別れ、ガラス工芸体験、戦跡めぐり、美ら海水族館見学、マングローブ林見学&カヌー体験にと、あいにくの天気でしたが沖縄らしい体験をしました。ホテル到着後全体集会へ、1200人を超える参加で会場は若者の熱気で溢れていました。全国パフォーマンス



13日(土)は行政・平和・環境・文化などコース別分科会があり、行政(辺野古や宜野湾市など基地と行政の関わりを学習)、歴史(県立博物館や斎場御嶽の見学)、平和(平和祈念公園と嘉数高台、ガマ、ひめゆり資料館を見学)、文化(美ら海水族館や名護博物館見学)、環境(ダイビングでサンゴの白化現象を見学)コースにわかれしました。「ガマに行った時子どもも多く亡くなっている



府職労から8人、全国から1250人が参加しましたが、実際にその人数を目の当たりにしたときはその多さに圧倒されました。交流会でも単組紹介などで盛

全国の仲間との感動を明日への原動力に

交流した
みんな感じた

スでは大阪の参加者132人全員で登壇、「大阪のうまいもん」におぼちゃんの生歌の歌詞を足した「大阪名物」を会場いっぱい拍手で大合唱。オープニング企画の最後は、全員でカチャーシー(沖縄の踊り)に興じました。2次会では各自治体の労働組合の紹介をし、夜の交流も深めまし



久高島で現地ガイドさんと

14日(日)は、府職労のメンバーで久高島を現地ガイドに案内してもらい、沖縄の神々の伝承や、信仰に結



びついた生活の話に聞き入りました。手つかずの自然と青い海、おいしい海ブドウ舟を堪能し、惜しみながら沖縄をあとにしました。仲間の大切さを肌身に感じ、感動を忘れずに、あたたかい職場・自治体をめざして励んでいきたいと感じた3日間でした。

私にとって、盛り沢山の「おきなわ」3日間でした。カヌー・マングローブ林の見学は、傘をさしても意味がないほどの大雨の中、ぬれながらも楽しい思い出になりました。ダイビングを体験しました。海の中は、きれいな景色



聞き衝撃的だった「普天間飛行場を台台から見て危険と隣り合わせの住民の暮らしを実感した」など、基地問題や平和の問題を抱えた沖縄を体験しました。

参加者の感想

3日間 楽しく盛り沢山の

堀野英昭さん

最後に閉会式で、青年千人が集まり、それぞれ想いをのせて飛ばした紙飛行機は、とてもきれいでした。

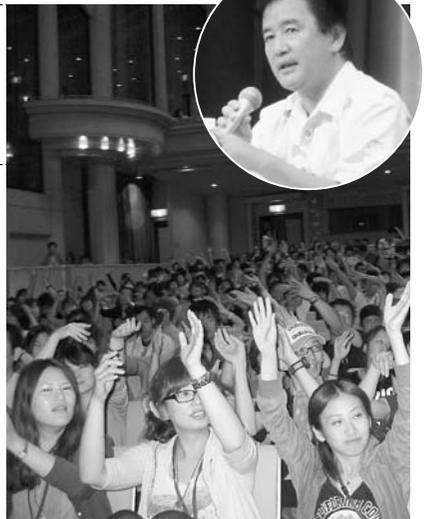
初日の環境コースは大雨の中、カヌー体験と慶次郎のマンガローブを見学しました。マンガローブは、植物群の総称で、山からの土砂をせきとめ、サンゴ礁を守る働きがあるなど、役割と重要さを学びました。

2日目、宜野湾市長が米軍基地移転問題についてお話しされました。普天間基地の現状や基地移設による住民の負担、危険性を強く訴えられました。短い時間で残念でしたが、平和を守るこの大切さを強く感じました。

たかさんの犠牲者を出した本土決戦の歴史を学んだり、現在でも様々な問題を抱えている沖縄でお話を聞くことで、平和を守ることの大切さ、戦争はしたくない、憲法9条を守る、ひいては憲法は変えてはいけない、と自然にそう思う気持ちにつながると感じました。戦争を知らない私たち、今後の世代にも伝えていかなければならないことだと思えます。

たかさんの犠牲者を出した本土決戦の歴史を学んだり、現在でも様々な問題を抱えている沖縄でお話を聞くことで、平和を守ることの大切さ、戦争はしたくない、憲法9条を守る、ひいては憲法は変えてはいけない、と自然にそう思う気持ちにつながると感じました。戦争を知らない私たち、今後の世代にも伝えていかなければならないことだと思えます。

ファイナル・イベントでインタビューに答える伊波宜野湾市長(写真上)



平和を守る大切さを痛感

茂内梨香子さん

初日の環境コースは大雨の中、カヌー体験と慶次郎のマンガローブを見学しました。マンガローブは、植物群の総称で、山からの土砂をせきとめ、サンゴ礁を守る働きがあるなど、役割と重要さを学びました。

先日、「餃子の王将」の大逆転経営術をテレビで見ました。事業を拡大した結果、多額の負債を抱え倒産の危機に陥った「王将」を復活させた社長の奮闘番組でした。感動しました。原点に帰る、従業員を大切にする、店長に任せる、など社長の3つの経営術が見事に成果に結びつき、社長の「社員との協力なしに改革はできない」「社員を大切にしない企業に明日はない」「社員ありきだ」の考え方が会社を守りました。▼「破産会社の社員だ」と連呼し、全国最低水準の給料の毎月カットを強行し、ボーナスのカットも引き続き行い、また今年も残業予算のカットを強行するなど、徹底的に「社員」を痛めつける「社長」だった。「王将」は破綻していたでしょう▼うちの「社長」は「大阪府の解体」を掲げているから破綻を視野に入れているのでしょが、働く職員としては堪ったものではありませぬ。府民サービスの向上と労働条件の改善は切なる願いです▼最近早朝出勤し仕事をしている人が増えているようです。責任感を持って働く職員の利用する方々に「王将」社長の爪の垢を煎じて飲むことを求めたい。(H)

遊歩道